

自己評価結果公表シート

1. 本園の教育目標

当園の教育方針は要約して

**「人としてそれぞれの個性をのびし
敢為進取 責任自主 誠実勤労」**

即ち、何でも積極的に進んで事にあたる。自分のことは自分です。

何事にも真心をもって骨おしみをしない。そういった人柄を育てる素地をつくりたいと心掛けております。

真心をもつためには小さい時から宗教心の芽生えを培うことも大切だと思います。そんな配慮もしています。

当園の教育目標と体力と精神力と頭脳づくりをめざして

音感教育（絶対音感と集中力、鋭敏な感覚を育てる）

知能教育（幼児の思考力、理解力を育てるために）

漢字教育（幼児にとっては、「かな」より「漢字」が易しい。漢字で教える教育）

体育教育（危険を避ける敏捷な反射神経を養う教育）

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目により自己評価をすることで全職員が自園を直視し教育内容や施設の改良に取り組むことを目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組み
(1)教材の充実	C	2歳児の3学期からお箸の扱い方を練習していき、年長園児は卒園までにお箸を使える様に指導する。季節に合わせたメニューを取り入れる。園児たちが食に興味を持つような絵本や紙芝居を行う。
(2)サーキット運動	B	まだまだ感染症の危険性がある中なので、一定の間隔をあけて園庭を走る10分間走を中心に実施。引き続き全園児が参加できるよう工夫していく。
(3)非常時の対応	C	消防避難訓練、不審者対応訓練を行う。遠足など園外活動の際の下見を行う。園児の動きの想定に十分でない部分があるので、今後その部分についても考えていく。
(4)感染症の防止に努める	B	園で感染症が拡がっても短期間で終息することが出来た。今後も様々な感染症の防止と共に感染症の拡大の防止に取り組んでいく必要がある。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	十分でないものや、達成されているものも新たに取り組むべき点が見えるので、継続して行っていく。

◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
(1) 教育の充実	今の教育に適したものを常に考慮して、取り入れていく。
(2) 給食の充実	箸の使い方やマナー、食育をはじめ日々色々な味に興味を持てる様に促す。食に対して楽しんで取り組める様に配慮する。
(3) 非常時の対応	不審者対応・消防避難（火事・地震）訓練の実施。下見等を通して園外活動中の上記対応の想定。
(4) 感染症の防止に努める	<ul style="list-style-type: none">・手を石けんで洗う・個人の手拭きタオルを毎日交換・園内で感染症が発生している期間のマスクの着用・保育室の消毒の徹底・保育室の換気・感染リスクの高い物の除菌（メロディオンのパイプ、共用物等）